

# 入管被收容者死亡事件－独立した人権機関の 必要性を考えよう

2022年1月25日(火) 18時～20時

日弁連は、人権の促進及び擁護のための国家機関（国内人権機関）の地位に関する原則（パリ原則）にのっとった国内人権機関を設置して、もって国際水準の人権保障システムを完備するよう求めています。

この度、入管收容中に外国籍の方が死亡した事例が大きく報道されています。

社会の関心が多く寄せられている入管收容の問題点を取り上げながら、日本の人権に関わる政策の問題点を指摘し、その改善を求めることのできる、政府から独立した第三者機関の必要性及び重要性を認識していただくために、本シンポジウムを開催します。

Zoomで御参加いただけますので、是非御参加ください。

## プログラム（予定）

### 1 基調講演

手話通訳，UDトークあり

駒井知会（東京弁護士会，名古屋入管スリランカ国籍女性死亡事件被害者遺族代理人）

### 2 基調報告

千種朋恵氏（START～外国人労働者・難民と共に歩む会～）

### 3 日弁連報告

白承豪（兵庫県弁護士会，日弁連国内人権機関実現委員会委員）

### 4 パネルディスカッション「入管收容問題において国内人権機関の果たしうる役割は？」

パネリスト：駒井知会，千種朋恵氏，白承豪

コーディネーター：佐藤暁子（東京弁護士会，日弁連国内人権機関実現委員会委員）

## 申込方法

締切：2022年1月20日(木)

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kkjnsympo/nyukan/>  
上記URL又は二次元バーコードから必要事項を入力し、お申し込みください。申込みいただいた方に、追ってZoom参加方法などをお知らせします。UDトークの利用を希望される方は、上記URL又は二次元バーコードからその旨御連絡ください。



※御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、本シンポジウムの事務のために利用します。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会又は日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍の御案内その他当連合会が有益であると判断する情報を御案内させていただくことがあるほか、個人情報とは、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。

お問合せ：日本弁護士連合会人権部人権第一課 TEL：03-3580-9483 FAX：03-3580-2896